



1941年東京生まれ
1964年早稲田大学卒
東部フットボールクラブ 前会長
流山市議当選 2期目

市議会 ほねぼとレポート

平成30年度予算案 可決成立される!

平成30年度第1回定例会において、本年度予算案を可決し閉会した。

市制創設50周年を迎えた昨年度の決算が、初の1,000億円を超えるどうかは決算審議を経て9月に判明するが、本年度の予算案は984億28百万円・前年度予算比14億94百万円減と1,000億円を超えない予算となった。

しかし、一般会計では25億75百万円増の554億85百万円となった。これは、別記の国民健康保険特別会計(国保)の広域化(詳細別記)による制度変更によるもので36億43百万円減が大きく寄与した。

予算案の内容は、4月1日付の「広報ながれやま」にわかりやすく特集が組まれています。これを見ていただき理解を深めてください。

国民健康保険広域化について

国民健康保険(国保)は市町村ごとに運営されていたが問題点は、

- ①加入者の年齢構成が高く、医療費の増加が止まらない
- ②所得の低い人が多いので、保険料(税金)の負担が重い
- ③小規模市町村では、国保の財政運営が不安定

●「広域化」の目指すところは?

国保制度の持続は、国からの財政支援と県との共同運営である。

- ①国から財政支援の拡充(総額 約3,400億円)
- ②県が市町村と共に国保制度の運営を担う

●流山市の現状と今後の対応は?

- ①一人当たりの収支決算:
県内54市町村中48位(2,530円)と低い

②国保税増加:

40～64歳(家族が増える) 45位 36,000円、
0～39歳・65歳～74歳 23,400円

③市の財政上の状況比較:

一般会計から繰入れ額(加入者1人当たり)

柏市(3,961円) < 流山市(9,940円) < 松戸市(10,787円)

④基金残高(加入者一人当たりで換算)

流山市(1,636円) < 柏市(2,782円) < 松戸市(44,285円)

⑤評価:法定外繰入は松戸市より少なく、柏市より大幅に多い。逆に基金(貯金)残高は3市中最低

・財政的余裕がない。

(上記は、H25年及びH26年度国保事業年報をもとに算出)

近未来の千葉県と本市の人口動態

厚労省の「国立社会保障・人口問題研究所(社人研)」が、2045年までの「地域別将来人口推計」を公表。全ての都道府県で30年代から減少がスタート、45年には7割以上の市区町村で15年比20%以上減ると推計! (2018・3・31朝日及び日本経済新聞・朝刊掲載)

千葉県は、30年には600万人の大台割れが、45年には12.2%減少。65歳以上の割合は15年の25.9%から45年には36.4%(75歳以上は20.7%)と推定。同様に千葉県内の54市町村中、本市他3市(浦安・木更津・印西*印)以外は人口が15年比を下回り、現在人口増が続いている県北西部でも20年代以降人口減時代を迎える(裏面の表を参照)。

ほねぼと市政報告会開催

連休最終日でお忙しい時期ですが、お待ちしております。

5月6日(日) 10時～11時半 平和台福祉会館

5月6日(日) 13時半～15時 向小金福祉会館